



九州事業所のご紹介

JBSテクノロジー株式会社 九州事業所開設準備室 新居 昭生

2016/06

JBS Technology JBS

JBSテクノロジー(株) 九州事業所について

- 開設

2016年7月1日

- 所在地

北九州市八幡東区東田1-5-7 ヒューマンメディア創造センター3F

Tel 093-280-1169 Fax 093-280-3174

- 認証資格・加入団体等

- 一般労働者派遣 許可番号 派13-306153

- プライバシーマーク

適用規格 JIS Q 15001:2006

登録番号 第21001120(01)号

- ISO/IEC 27001:2013 / JIS Q 27001:2014

取得規格 ISO/IEC 27001:2013 / JIS Q 27001:2014

登録番号 IS 93767

- 北九州 e-PORTパートナー



九州事業所の提供するサービスについて



e-PORTパートナーの一員として

- ◆データセンターへのシステム移設サービス(システム設計・構築・移設作業)
- ◆クラウド移行サービス(移行設計・移行作業)
- ◆システム運用管理サービス(24時間・365日体制)

データセンターや企業・サービス事業者に必要な最新ITインフラ技術サービスの提供

- Microsoftソリューション全般
- 仮想化／クラウド／VDIシステム設計・構築・移行
- IoT、Big Data
- SDN
- 統合監視、運用管理サービス全般

北九州e-PORTのご紹介



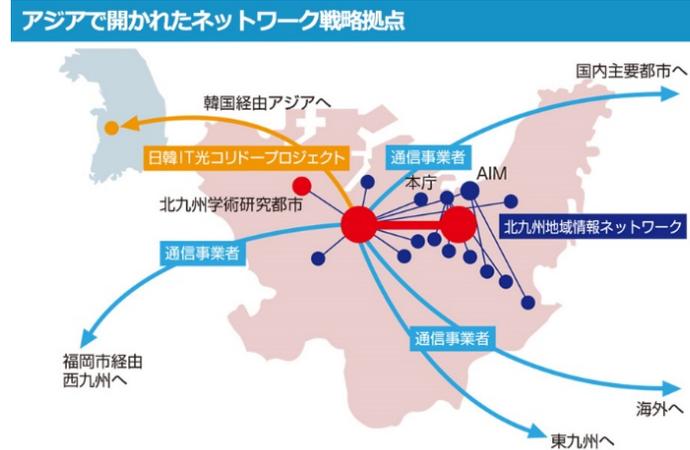
e-PORTとは？ (<http://www.e-port.gr.jp/index.php>)

- ・北九州市が推進するITサービスの集積拠点。24時間365日ノンストップの「情報の港」
- ・ヒューマンメディア創造センターのある北九州市八幡東区東田は、その中核地域となっている。
- ・2002年から始まり、2015年よりe-PORT構想2.0が新たに策定されて推進中。

複数のデータセンター立地・主要都市からのアクセス利便性



マルチキャリア環境による、国内・アジアへのネットワーク



「Copyright(C) 2015-16 e-PORT All Rights Reserved.」

九州事業所の提供するサービスについて

IT基盤エンジニアリングサービスを迅速かつ的確にご提供いたします

サービスサイクル



サービス提供カテゴリー



サービス形態



九州事業所の提供するサービスについて

IT基盤エンジニアリングサービスを迅速かつ的確にご提供いたします

サービスサイクル



サービス提供カテゴリー

・プリセールス

- SIer様との協業、提案からの同行
- 設計フェーズへシームレスな連携

・環境調査(アセスメント)

- 既存環境の調査代行
- レポート資料作成

・インフラ基盤の設計

- 基本設計～詳細設計
- チーム単位での安定したスキル供給

・混在環境への対応

- マルチベンダー対応
- オンプレミス・クラウド混在環境

・移行設計

- 移設を伴う移行設計
- オンプレミス/クラウド移行設計

・インフラ基盤構築/試験

- ネットワーク基盤
- プラットフォーム基盤
- UC (統合コミュニケーション) 基盤

・移行作業

- 仮想環境移行 (V2V、P2V)
- クラウド環境移行 (Private、Public、Hybrid)
- データ移行
- データセンター移転

・ヘルプデスク

- IT部門向け・エンドユーザ向け

・運用業務改善・最適化

- 運用業務の効率化
- 運用保守人員・体制の最適配置

・インフラ改善・最適化

- EOL・EOS管理
- 脆弱性情報管理
- バグ・障害情報管理

サービス形態

ITプロフェッショナルサービス(派遣)

ITアウトソーシングサービス

インフラ設計・構築サービス(請負)

九州事業所の体制について（2016年6月計画値）

九州事業所 2016年7月1日開業	CY2016		CY2017	
	3Q	4Q	1Q	2Q
所長	1名			
プリセールス	1名			
設計構築エンジニア	0名	1名	1名	1名
運用エンジニア	9名	9名	10名	11名
社員合計	11名	12名	13名	14名

転勤
社内公募

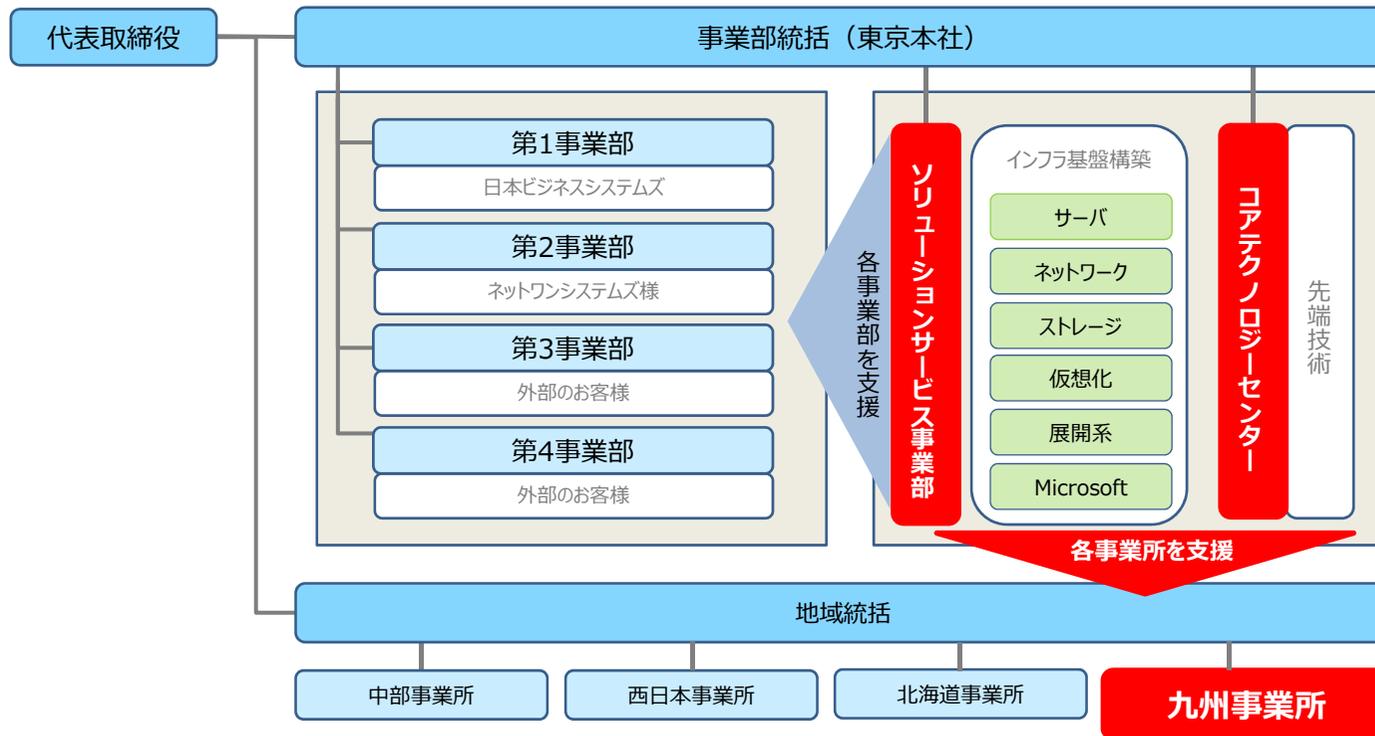
U/I/Jターン
中途採用活動

地元での
中途採用活動

地元での
新卒採用活動

5年後、**100名**体制、売上10億円を目指す！

全社組織体制と九州事業所の関係（本社からの支援体制）



JBSグループ概要

■JBSテクノロジー株式会社 会社概要

設立: 2004年5月28日

資本金: 80,200 千円 (2016 年6月末現在)

代表者名: 代表取締役社長 貫 幾太郎

所在地: 東京都港区虎ノ門1-23-1虎ノ門ヒルズ森タワー16F

社員数: 930名

URL: <http://www.jbst.co.jp/>

■日本ビジネスシステムズ株式会社 会社概要

設立: 1990年10月4日

資本金: 539,630 千円 (2016 年6月末現在)

代表者名: 代表取締役社長 牧田 幸弘

所在地: 東京都港区虎ノ門1-23-1虎ノ門ヒルズ森タワー16F

売上高: 289億円 (2015年9月期)

社員数: 940名

URL: <http://www.jbs.co.jp/>

Facebook: <https://www.facebook.com/jbs.co.jp>

Appendix

提供サービスの事例・実績



仮想デスクトップ - VMware Horizon View



1 導入背景

案件名	科学系メーカー様向け VDI基盤導入プロジェクト
導入時期	2015年6月 ~ 2015年12月
導入背景	場所を選ばない働き方を実現するため、お客様グループ会社向け仮想デスクトップ環境を導入。 本プロジェクトにおいて、総端末台数33,000台のうち、10,000台を仮想デスクトップへ変更。利用規模は500ユーザーとし、最終的に10,000ユーザーの利用を想定。

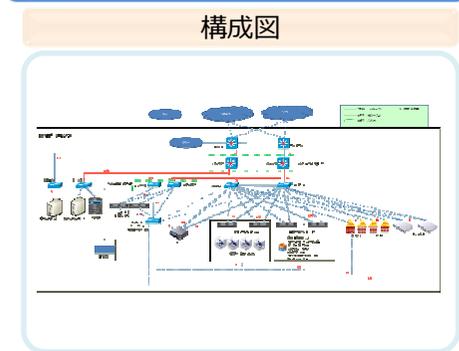
2 課題と導入後の解決策

導入前の課題	導入後
① 外回りの営業もしくは在宅勤務等の様々な働き方に対応できない	⇒ 端末や場所を選ばない働き方を実現した
② PC紛失時の情報漏えいやセキュリティが担保されていない海外拠点への進出へ向けたセキュリティ対策がなされていない	⇒ 多様な端末から情報セキュリティを担保した業務環境を実現した
③ PCの更改および運用管理に多大な負荷及びコストがかかっている	⇒ 端末紛失というセキュリティリスクを排除した
	⇒ VDI導入によりコスト・運用負荷が軽減された

3 導入ソリューションの概要

機器台数	
サーバ台数	仮想デスクトップ構成 サーバー：16台
ストレージ台数	共有ストレージ：1台
NW機器台数	L2/L3/LB：11台
その他	なし

4 構成図



5 導入に当たりの詳細

導入体制	導入にあたっての工夫及び苦労	関係者コメント
協業：某Sier様 サーバエンジニア：4名体制 (PM1名) 基本設計、詳細設計、検証、試験、構築	将来的に10,000ユーザーの利用を想定しているため、高い拡張性が求められたが、設計段階から拡張性を考慮し、実装、試験を実施した。	設置場所が遠隔地ということと、非常に短納期だったためにタフな現場となったが、お客様の協力の元、プロジェクトを完遂することができた。

Red Hat Enterprise Linux



1 導入背景

案件名	公官庁様向け 図書管理システム導入プロジェクト
導入時期	2015年4月 ~ 2016年3月
導入背景	図書管理システムのリプレースに伴い、物理サーバを仮想サーバへ更改。137台の物理サーバを2台のブレードインクロージャへ統合することにより、既存環境で問題となっていた設置スペース、消費電力、保守費等のランニングコストの削減を実現した。また、統合化により運用業務がスリム化し、業務の可視化・効率化と共にシステム毎にばらつきのあった運用レベルの均一化を実現した。

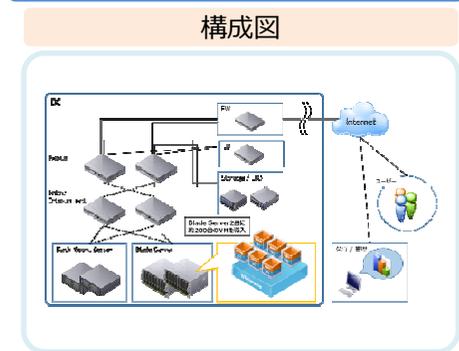
2 課題と導入後の解決策

導入前の課題	導入後
① 膨大な数の物理サーバ・HWリソースが有効活用できていない	⇒ HW統合・仮想化導入によりリソース使用の効率化及びランニングコスト削減を実現
② システム毎の運用レベルにばらつきがあり、運用業務が全体的に不透明	⇒ 適切な機器選定と環境に則したパラメータ決定により最大限のパフォーマンスを実現
③ 運用担当者の変更に伴い、構築から運用フェーズへのスムーズな引き渡しができず不安	⇒ 統合化により運用業務が見える化し、日常業務の可視化・効率化を実現
	⇒ 弊社メンバーが運用に参画することにより、円滑なワンストップサービスを提供

3 導入ソリューションの概要

機器台数	
サーバ台数	仮想：約200台 物理：30台
ストレージ台数	FAS8060：3台 (追加インクロージャ：20台) / EF550：1台
NW機器台数	約30台 (L2/L3, LB, WAF, ISR)
その他	テープ装置、Symantec NBU、ABR、VBCorp、Hinemos

4 構成図



5 導入に当たりの詳細

導入体制	導入にあたっての工夫及び苦労	関係者コメント
協業：某Nier様 サーバ・NWエンジニア：10名体制 (PM1名) 基本設計、詳細設計、検証、試験、構築、運用設計、運用業務	各システムとの整合性調整 多様なプロダクトが混在する環境になるため、OSのパッチレベルでの調整が必要となった。綿密な事前検証とサポート・調整により解決。	弊社は仮想化基盤の導入に対し、規模を問わず数多くの実績がございます。ご検討の際は、ぜひご用命賜りますようお願い致します。

クラウド環境への移行



1 導入背景

案件名	某企業様向け 業務システムクラウド移行
導入時期	2016年1月 ~ 2016年3月
導入背景	お客様のシステム老朽化に伴い、物理サーバで兼務していた役割(Active Directory、ウイルスサーバ、勘定系サーバおよびファイルサーバ)をクラウド上に個別移行した。長年の運用で増加したコストの削減と、複雑化した運用業務の整理を目的として、プロジェクトを遂行。

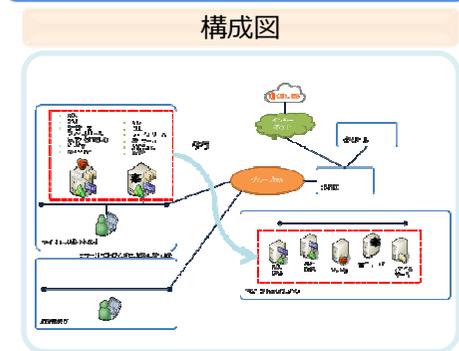
2 課題と導入後の解決策

導入前の課題	導入後
① 一台のサーバで多くの役割を兼務しており 管理が煩雑 となっている	クラウド上へ移行することで、機器設置スペースおよび 管理コストの削減 を実現
② リソースが常に枯渇 しておりパフォーマンスが悪い	役割毎にサーバを用意することで、 細かい管理や変更時のインパクト減少 を実現
③ 長年の運用により既存システム上に 多くのゴミが存在 していた	役割毎の分割の際に 綿密なサイジングを実施し、パフォーマンス確保 を実現
	不要なデータの整理 ができた

3 導入ソリューションの概要

機器台数	
サーバ台数	物理2台→5台
ストレージ台数	なし
NW機器台数	L2/L3 : 3台
その他	なし

4 構成図



5 導入に当たりの詳細

導入体制	導入にあたっての工夫及び苦労	関係者コメント
エンジニア：約6名(PM1名) 移行設計、検証、詳細設計、構築、移行、試験	現状のassessmentと役割の分割設計に伴う検証、現状実施できていない監視やバックアップを機能させるための追加設計が必要であった。 移行前のOSがサポート対象外のためトラブル時の対応が困難であった。	初期構築時からかなりの時間が経っていたため、リプレイスには苦労した。ADの移行などは弊社の豊富なナレッジによりトラブルなく進めることができました。

Hadoop 基盤技術支援案件実績②

案件名

某保険会社向けHadoop PoC環境構築作業

導入時期

2015年11月 ~ 2015年12月

1 導入背景

導入背景

個々人の振る舞いから生成されるデータを分析することで最適な保険料が決定するソリューションが発表されるなど、近年、保険とビッグデータの結びつきはより深くなっています。ビッグデータをより効率よく、高速に分析するためのSQL on Hadoopの導入には、<Hadoopの設計・構築>とその上で動作する<SQLエンジンの設計・構築>が必要です。限られた予算と時間の中でPoCをスムーズに実施するために、JBSTエンジニアにPoC環境の設計構築の依頼をいただきました。

2 課題と導入後の解決策

導入前の課題

- ビッグデータ蓄積分析基盤としてSQL on Hadoopの導入を検討中。Hadoopの有識者がおらず、SQL on Hadoopの設計構築を自前で実施するには、時間がかかりすぎる。
- 予算的にPoCのために専用のHWを用意することが難しい。



導入後

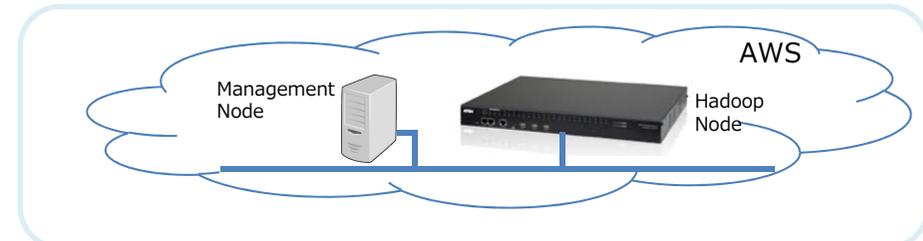
弊社のエンジニアが予算内で用意できる最適なクラウド基盤（AWS）のインスタンス選定を支援し、SQL on Hadoopの設計構築を行いました。これにより、迅速にPoCを開始することができました。

3 導入ソリューションの概要

機器台数

サーバ台数	AWSノード：2台（マスター/スレーブ1台、管理ノード1台）
ストレージ台数	無し
NW機器台数	無し
その他	無し

導入ソリューション物理構成図



4 導入に当たっての詳細

導入体制

CCA取得者の中級エンジニア1名体制

設計、構築、動作確認担当

導入にあたっての工夫及び苦労

工数：15人日
ご予算の都合上、AWS上の2インスタンスでの構築ということで、PoC中のデータ量の増加やパフォーマンス劣化に耐え得るHadoopの設計、またインスタンスの選定が困難だった。

お客様コメント

構築の際、若干トラブルもありましたが、うまくカバーしてもらい、無事にPoCを始めることが出来ました。（P社営業）

主要な事例・実績のご紹介(運用委託)

取引先	エンドユーザ	システム環境	運用内容	提供時間	体制
大手ネットワークインテグレータ様	通信キャリア企業	コンシューマ向 モバイルサービス基盤	ネットワークインフラ 運用・保守常駐	24H・7D	・16名 管理1名 運用業務8名 保守業務7名
	大手運送会社	グループ会社 プライベートクラウド ネットワークインフラ 運用業務常駐	ネットワークインフラ 運用業務常駐	平日 9:00-18:00	・7名 運用業務7名
	某官公庁施設	仮想基盤 運用業務常駐	ヘルプデスク インフラ運用業務常駐	7D 8:00-20:00	・9名 管理1名 ヘルプデスク5名 監視業務2名 運用業務5名
	関東某県庁	県庁 プライベートクラウド インフラ 運用業務常駐	ヘルプデスク インフラ運用業務常駐	月-金 8:30-17:15	・9名 ヘルプデスク5名 インフラ運用4名

大手通信キャリア様運用内容

運用対象システム: 大手通信キャリア様商用ネットワークインフラ

運用対象システム規模: 保守(国内19拠点2,500台) 運用(国内230拠点、3,200ユーザ、6,500台)

システム構成:

保守対象	ネットワーク機器	2,500台
運用対象	ネットワーク機器	6,500台
	Webフィルタリング	16台

運用業務内容

- ネットワークインフラ機器保守業務
- ネットワークインフラ機器運用業務

運用体制: お客様先常駐 保守業務: 24h・7d 運用業務: 月-金9:00-18:00
管理者1名 保守業務7名 ネットワークインフラ運用8名

大手運送会社様運用内容

運用対象システム: 全社ネットワークインフラ

運用対象システム規模: 国内100拠点 3,000ユーザ

システム構成:

Alaxala SW x 18
Allied Telesis SW x 56
Anue Monitoring SW x 2
F5 (BIG-IP) LB x 75
Bluecoat Packet Shaper x 117 Proxy x 4
Chackpoint F/W x 4
Cisco ACS x 2 AP x 76 FW x 11 Rt x 538 LB x 16
Radius x 2 WLC x 6
Palo Alto FW x 8

運用業務内容

ネットワークインフラ機器管理
ネットワークインフラ機器運用

運用体制: お客様先常駐 月-金 9:00-18:00
インフラ運用7名

都内某官公庁様施設運用内容

運用対象システム: 施設職員が利用する仮想基盤システム

運用対象システム規模: 国内3拠点 1,000ユーザ 物理サーバ100台 仮想サーバ: 200台

システム構成:

Cisco SW x 14 Rt x 8 FW x 2
Blade Bシリーズ x 13 Cシリーズ x 32
F5 (BIG-IP) LB x 2
NetApp Storage x 7 Storage用Sw x 2
Palo Alto FW x 2
Trandberg Data Tape Device x 1

運用業務内容

職員様向ヘルプデスク
仮想基盤システム監視
仮想基盤システム運用

運用体制: お客様先常駐 日-土(7日間)8:00-20:00

管理者1名 ヘルプデスク5名 システム運用5名 システム監視2名

関東某県庁様運用内容

運用対象システム: 全県プライベートクラウド基盤

運用対象システム規模: 県内400拠点 15,000ユーザ 仮想サーバ: 65台

システム構成:

Cisco Sw x 450 Rt x 400 Brocade AD x 4
Paloalto x 2 Fortigate x 3
NetApp x 1 EMC x 17
Cisco UCS B x 8 C x 2

運用業務内容

機器認証、管理サービス
アカウント情報管理
メールサービス(マルウェア対策含む)
プロキシ、コンテンツフィルタリング
ウィルス対策システム
ファイルサーバ
ドメイン管理

運用体制: お客様先常駐 月-金8:30-17:15
ヘルプデスク5名 インフラ運用4名



JBS JBS Technology

We are **O**peration **M**anaged **S**ervice **P**rovider

Copyright © JBS Technology Inc. All Rights Reserved.

JBS Technology